

平成 27 年度 事業計画

社会福祉法人山陵会

【法人理念】

- 一、地域の需要に応じた事業展開を行い、
地域に根ざした経営を行うこと
- 一、利用者の立場に立った福祉サービスを提供し、
利用者の笑顔と満足感を喜びとする
- 一、ノーマライゼーションの普及実践を行い、
個人の尊厳を守り高めることを使命とする

【運営方針】

真心と愛と和をもってフラワーホームを創造する
私どもは、利用者及び家族並びに地域社会のご協力を頂きながら
真心と愛と和をもって
不自由な身体であっても楽しい老後を送りながら
自立への希望と夢を育むフラワーホームを創造する

【努力目標】

- (1) 子育て支援のできる職場環境づくり
- (2) この人は何を望んでいるか、常に考える職員を目指す
- (3) 本人と家族にとって満足の得られる看取りの実践
- (4) 利用者から人生を学び、常に感謝の気持ちを忘れない
- (5) 人材確保と人材育成
- (6) 社会福祉法人としての役割と経営基盤の確立

平成 27 年度 事業計画

特別養護老人ホームフラワーホーム

【基本方針】

フラワーホームは、利用者のできる事・している事を大切にし、利用者が持っている力を十分に発揮しながら笑顔で過ごせるように支援する。またスタッフは利用者一人ひとりをかけがえのない存在として常に優しく、思いやりを持って接するように支援する。

【努力目標】

- (1) 利用者が笑顔で暮らすために、これまで歩んできた人生に寄り添い、家族や地域社会との関わりを保ちながら、楽しみや生きがいを持ち、喜びを感じられるようにする。
- (2) 利用者が日常的な介護が必要になっても、『したい事』をあきらめずに暮らすために、利用者ができる事やしている事を時間をかけてゆっくりと関わり、また利用者自身がやり続けられるように言葉をかけるようにする。
- (3) 利用者や家族が安心して暮らせるように、常に職員一人ひとりには利用者の思いをくみ取り、優しく、丁寧で思いやりを持って利用者に接するようにし、自分の家族や同僚の家族に利用して欲しいと思える施設作りをする。
- (4) 利用者がかけがえのない一人として暮らせるように、一日一日を大事にし、最期のその時に「自分の人生は幸せだった」と振り返られるよう、家族と一緒に利用者生活を支える。また、職員は人生の集大成の大切な時間に関わっているという意識を持つ。

平成 27 年度 研修計画

特別養護老人ホームフラワーホーム

	研修項目	研修内容
4 月	人材育成に関する研修	OJT を中心に人材育成の方法や職場研修の重要性について学ぶ
5 月	リスクマネジメントに関する研修	施設での事故をどのように未然に防止するのかを学ぶ
6 月	看取り介護についての研修	具体的なエンゼルケアの方法や看取り介護の重要性、人の死について考える。
7 月	認知症ケアに関する研修	認知症の人に対しての接し方や特性に応じた関わり方を学ぶ
8 月	法人内事例発表会	テーマを定め、日頃の実践について事例発表会を行う
9 月	感染症対策及びまん延防止のための研修	感染症の感染対策及びまん延の防止策についての方法を学ぶ
10 月	倫理及び法令順守についての研修	山陵会の倫理規定を基本に高齢者虐待防止や個人情報保護について学ぶ
11 月	介護技術向上のための研修	利用者や介護者にとって安心、安全な介護技術を学ぶ
12 月	身体拘束廃止についての研修	身体拘束のもたらす弊害や人権擁護の観点から身体拘束廃止について学ぶ
1 月	緊急時の対応についての研修	AED を使用した心肺蘇生法や食物を喉に詰まらせた時等の対応について学ぶ
2 月	高齢期の疾病や薬についての研修	高齢者の罹患しやすい疾病やよく服用されている薬の効用や副作用を学ぶ
3 月	法人内事例発表会	テーマを定め、日頃の実践について事例発表会を行う

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

平成 27 年度 年間行事計画

特別養護老人ホームフラワーホーム

4 月	上旬	○開園記念日 ・ 桜の花見
	中旬	○火災想定総合避難訓練 ・ 高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
5 月	上旬	○端午の節句
	中旬	○家族会／家族交流会
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
6 月	上旬	○
	中旬	○
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
7 月	上旬	○七夕 ・ 竹子みどりの少年団交流
	中旬	○高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
8 月	上旬	○
	中旬	○お盆法要 ・ 終戦記念日
	下旬	○火災想定夜間集合訓練 * 法要法話（照明寺藤谷先生）
9 月	上旬	○
	中旬	○敬老祝賀会
	下旬	○彼岸法要 ・ 十五夜 * 法要法話（高陵寺加来先生）
10 月	上旬	○
	中旬	○高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
11 月	上旬	○ほぜ祭り
	中旬	○七五三
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
12 月	上旬	○
	中旬	○
	下旬	○忘年会 ・ 餅つき * 法要法話（照明寺藤谷先生）
1 月	上旬	○初詣 ・ 七草
	中旬	○鏡開き ・ 高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
2 月	上旬	○節分の豆まき
	中旬	○
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
3 月	上旬	○桃の節句（ひなまつり）
	中旬	○彼岸法要
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）

平成 27 年度 事業計画

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

【事業所理念】

『笑顔』

- 一、利用者一人一人の思いをくみ取っていきます
- 一、今までと同じような生活を送れるようにします
- 一、今までの馴染みの人や場所との関係を大切にします

【基本方針】

フラワーホームユニットは、介護が必要になり住み慣れた自宅を離れなければならないようになってからも、家族や地域とのつながりを持ちながらその人らしい暮らしが継続できるよう、利用者と同じく関わり支援する。

【努力目標】

- (1) 利用者のこれまでの暮らしぶりや大事にしていることを知るために、じっくりと寄り添い関わりを深めることで、24時間シートを充実させ、よりその人らしい暮らしが継続できるようにする。
- (2) 利用者が家族や地域、馴染みの人とのつながりを大切にするために、家族と協力しながら自宅で過ごす時間を持てるようにしたり、地域の集いの場などに出かけるようにする。
- (3) 利用者が馴染みの家具や大事にしていた物に囲まれ、安心して過ごせるように、家族と話し合い、協力しながら自宅にいるような雰囲気のある居室作りをする。

平成 27 年度 研修計画

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

	研修項目	研修内容
4 月	人材育成に関する研修	OJT を中心に人材育成の方法や職場研修の重要性について学ぶ
5 月	リスクマネジメントに関する研修	施設での事故をどのように未然に防止するのかを学ぶ
6 月	看取り介護についての研修	具体的なエンゼルケアの方法や看取り介護の重要性、人の死について考える。
7 月	認知症ケアに関する研修	認知症の人に対しての接し方や特性に応じた関わり方を学ぶ
8 月	法人内事例発表会	テーマを定め、日頃の実践について事例発表会を行う
9 月	感染症対策及びまん延防止のための研修	感染症の感染対策及びまん延の防止策についての方法を学ぶ
10 月	倫理及び法令順守についての研修	山陵会の倫理規定を基本に高齢者虐待防止や個人情報保護について学ぶ
11 月	介護技術向上のための研修	利用者や介護者にとって安心、安全な介護技術を学ぶ
12 月	身体拘束廃止についての研修	身体拘束のもたらす弊害や人権擁護の観点から身体拘束廃止について学ぶ
1 月	緊急時の対応についての研修	AED を使用した心肺蘇生法や食物を喉に詰まらせた時の対応について学ぶ
2 月	高齢期の疾病や薬についての研修	高齢者の罹患しやすい疾病やよく服用されている薬の効用や副作用を学ぶ
3 月	法人内事例発表会	テーマを定め、日頃の実践について事例発表会を行う

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

*外部研修での復命・報告は職員研修会の中で随時行っていく。

平成 27 年度 年間行事計画

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

4 月	上旬	○開園記念日 ・ 桜の花見
	中旬	○火災想定総合避難訓練 ・ 高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
5 月	上旬	○端午の節句
	中旬	○家族会／家族交流会
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
6 月	上旬	○
	中旬	○
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
7 月	上旬	○七夕 ・ 竹子みどりの少年団交流
	中旬	○高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
8 月	上旬	○
	中旬	○お盆法要 ・ 終戦記念日
	下旬	○火災想定夜間集合訓練 * 法要法話（照明寺藤谷先生）
9 月	上旬	○
	中旬	○敬老祝賀会
	下旬	○彼岸法要 ・ 十五夜 * 法要法話（高陵寺加来先生）
10 月	上旬	○
	中旬	○高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
11 月	上旬	○ほぜ祭り
	中旬	○七五三
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
12 月	上旬	○
	中旬	○
	下旬	○忘年会 ・ 餅つき * 法要法話（照明寺藤谷先生）
1 月	上旬	○初詣 ・ 七草
	中旬	○鏡開き ・ 高齢者福祉研究会
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）
2 月	上旬	○節分の豆まき
	中旬	○
	下旬	○ * 法要法話（照明寺藤谷先生）
3 月	上旬	○桃の節句（ひなまつり）
	中旬	○彼岸法要
	下旬	○ * 法要法話（高陵寺加来先生）

平成 27 年度 事業計画

フラワーホームデイサービスセンター

【基本方針】

フラワーホームデイサービスセンターは地域と密着し、利用者の自立支援と社会的孤立の解消、要介護状態の軽減・悪化防止、介護者の介護負担軽減を目的とし、利用者が自宅において、これまで積み上げてきた生活を継続できるように利用者本位にのっとり一人ひとりを大切にし、安心して日常生活が送れるよう保健、医療、福祉の連携を積極的に推進し経営を行う。

【努力目標】

(1) 自立支援 ～生活機能改善のために～

利用者の残された能力を引き出せるよう、一人ひとりを尊重し、思いやりを持ってケアを行っていく。個別機能訓練の充実を図り、自宅での生活に効果が期待できる訓練を行う。

(2) 一日一笑

利用者の笑顔を引き出せるように職員は接し、一日一回でも笑っていただけるよう支援する。

(3) 連携

報告・連絡・相談をしっかりと行い、家族・ケアマネジャー・関係機関と連携を図り、支援する。介護保険制度の変更に伴い内部研修の充実を図る。

平成 27 年度 研修計画

フラワーホームデイサービスセンター

	研修項目	研修内容
4 月	介護保険制度改正について	介護報酬の改定について
5 月	福祉職員としてのモラルと接遇	利用者に安心を与える接し方
6 月	非常災害時の対応	災害時の対応について学ぶ
7 月	認知症について	認知症についての対応
8 月	事故発生時の対応	対応方法
9 月	苦情に関する研修	実例を挙げた研修
10 月	高齢者虐待に関する研修	専門的な講師を招き研修
11 月	感染症について	感染症の種類と予防方法
12 月	応急手当に関する研修	転倒・外傷時の対応
1 月	介護予防に関する研修	総合事業について
2 月	リスクマネジメントについて	利用者のプライバシー保護に関する研修
3 月	介護技術講習	移乗について

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

平成 27 年度 年間行事計画

フラワーホームデイサービスセンター

4 月	上旬	花見
	中旬	グランドゴルフ
	下旬	芝桜見物
5 月	上旬	藤祭り・買い物行事
	中旬	母の日行事
	下旬	ホウ酸団子づくり
6 月	上旬	誕生会
	中旬	口腔ケア
	下旬	丸池湧水
7 月	上旬	七夕
	中旬	そうめん流し
	下旬	足湯
8 月	上旬	買い物行事
	中旬	お菓子づくり
	下旬	ぶどう狩り
9 月	上旬	誕生会
	中旬	敬老会
	下旬	秋の遠足（高千穂牧場）
10 月	上旬	運動会
	中旬	文化祭
	下旬	買い物行事
11 月	上旬	手芸
	中旬	ゲートボール
	下旬	紅葉狩り
12 月	上旬	買い物行事
	中旬	忘年会・クリスマス・誕生会
	下旬	餅つき
1 月	上旬	神宮参拝
	中旬	正月遊び
	下旬	ゲートボール
2 月	上旬	節分
	中旬	選択レクリエーション
	下旬	映画鑑賞
3 月	上旬	ひな祭り
	中旬	誕生会
	下旬	茶話会

その都度、園児・学童との交流をする

平成 27 年度 事業計画

フラワーホームホームヘルプサービス

【基本方針】

フラワーホームホームヘルプサービスは、利用者の心身の状態に応じて適切なサービスを提供する。

住み慣れた自宅で、安心して暮らすことが出来る環境作りに努める。

【努力目標】

- (1) 笑顔で過ごしていただけるよう努力する。
- (2) 気持ちに寄り添い、今までの生き方そのままに過ごしていただけるよう努める。
- (3) 介護に関わる人々のつながりを重視し、質の高いサービスを提供するためお互いの意志疎通をスムーズにする。

平成 27 年度 研修計画

フラワーホームホームヘルプサービス

	研修項目	研修内容
4 月	接遇について	マナー言葉使い
5 月	認知症ケアについて	認知症状、対応について
6 月	調理実習	減塩調理、カロリー計算
7 月	食中毒について	殺菌、除菌のしかた
8 月	熱中症、脱水予防	摂取のしかた 症状について
9 月	事故予防	転倒予防、移乗のしかた
10 月	プライバシーについて	個人情報の扱い方
11 月	感染症、及びまん延防止	予防、対策
12 月	ノロウィルス、インフルエンザ	かからないための予防、対策
1 月	緊急時対応について	手順、その時の対応について
2 月	記録のしかた	活動記録簿の記入のしかた
3 月	介護計画書の見直し	活動内容の見直し

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

平成 27 年度 事業計画

小規模多機能ホームふもとの家

【事業所理念】

一、『三者の喜び』（利用者、家族・地域住民・スタッフ）

関わる人みんなが笑顔で地域に暮らし続けるために私たちはここにいます

【基本方針】

小規模多機能ホームふもとの家は、家庭的な環境の中で、利用者一人ひとりを尊重し、役割や生きがいを持ってこれから先も住み慣れた地域の中、住み慣れた家で生活し続けられるように支援していく。

【努力目標】

- (1) 本人・家族の望む暮らしを実現する為に、本人の持っている能力を引き出し、住み慣れた自宅での生活が継続できるように支援する。
- (2) 自宅での生活が継続できるように、本人ができることと支援すべきことを知った上で「訪問」を強化する。
- (3) 事業所の移転に向けて、本人・家族が戸惑うことのないように、また、地域に必要とされる事業所作りを展開する。

平成 27 年度 研修計画

小規模多機能ホームふもとの家

	研修項目	研修内容
4 月	小規模多機能型居宅介護について	小規模多機能型居宅介護に期待されることや様々な事業所の先進的な取り組みを学び、自分の事業所を振り返る
5 月	利用者の全人性・尊厳の実践的理解展開に関する研修	尊厳・その人らしさとは何か？理論や対人援助技術に関する専門的な知識・技術価値観を学ぶ。また、高齢者や障害者の想いを知る
6 月	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症の定義や中核・周辺症状を理解し認知症高齢者への対応方法を学ぶ
7 月	基本的な介護技術の方法やチームワークの大切さに関する研修	食事、排泄、入浴等の支援にあたり、体の仕組み等を理解し適切な介護方法を学ぶ。また、職員間の連携について振り返る
8 月	感染症及び食中毒の予防及びまん延防止、健康管理、薬の効能に関する研修	感染症及び食中毒の発生要因や種類について学び、施設内の予防策やまん延防止策を学ぶ。また、よく処方される薬の効能や副作用を学ぶ
9 月	倫理及び法令遵守に関する研修	専門職としての倫理と介護保険法、高齢者虐待防止法を学び、人権意識を再確認する
10 月	介護記録の書き方に関する研修	ライフサポートワークの意義、活用法、プランに基づく記録の仕方等を学ぶ
11 月	非常災害時の対応に関する研修	非常災害時の避難誘導、連絡網等について学ぶ
12 月	リスクマネジメントに関する研修	介護事故の予防や苦情相談解決の仕組みや連絡体制について学ぶ
1 月	身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修	身体拘束等がもたらす弊害等を理解し、身体拘束排除に向けたケア方法を学ぶ
2 月	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	心肺停止、転倒事故、誤飲・誤嚥事故等発生時の対応について学ぶ
3 月	プライバシー保護の取り組みに関する研修	ケース記録の取り扱いや日常のケアにおけるプライバシーに配慮した声のかけ方等について学ぶ

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

平成 27 年度 年間行事計画

小規模多機能ホームふもとの家

4 月	上旬	○桜の花見
	中旬	○
	下旬	○
5 月	上旬	○藤の花見 ○照明保育園児とのあくまき作り ○端午の節句
	中旬	○
	下旬	○
6 月	上旬	○梅干し作り
	中旬	○あじさいロードドライブ
	下旬	○ラッキョウ漬け作り
7 月	上旬	○照明保育園児との七夕作り
	中旬	○
	下旬	○ふもとの家夏祭り（第 3 土曜日）
8 月	上旬	○ソーメン流し ○夏休み子ども映画会
	中旬	○
	下旬	○
9 月	上旬	○そば植え
	中旬	○敬老の日 ○十五夜
	下旬	○おはぎ作り
10 月	上旬	○照明保育園運動会 ○コスモス花見
	中旬	○山田の案山子見学
	下旬	○認知症サポーター養成講座
11 月	上旬	○ほぜ祭り（こんにゃく作り）
	中旬	○紅葉狩り
	下旬	○そば落とし
12 月	上旬	○門松、しめ縄作り
	中旬	○忘年会
	下旬	○照明保育園児との餅つき
1 月	上旬	○初詣参拝
	中旬	○
	下旬	○
2 月	上旬	○節分
	中旬	○
	下旬	○梅の花見
3 月	上旬	○桃の節句
	中旬	○
	下旬	○ぼたもち作り

平成 27 年度 事業計画

デイサービス白梅

【事業所理念】

- 一、「その人らしく」住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、ともに考え支援します
- 一、「その人らしさ」に対応した生活の援助を行います
- 一、「その人らしさ」を発揮できる場の提供を支援します

【基本方針】

デイサービス白梅は、事業所理念に基づき高齢者の方々の気持ちに寄り添いながら、その方の持てる力が十分に発揮できるよう、またご自宅での生活が安心して継続できるよう支援する。さらに部署、他事業所等とも連携を図り運営する。

【努力目標】

- (1) 利用者の希望を取り入れたレクリエーションや行事を実践し、楽しみや充実感を得られるようにする。
- (2) 安全の確保に十分に配慮した体制の整備・運営を行う。
- (3) 認知症高齢者への理解をさらに深め、個々に適した関わり方をチームで検討しながら実践する。
- (4) 地域とのつながり、関係作りを行う。

平成 27 年度 研修計画

デイサービス白梅

	研修項目	研修内容
4 月	認知症について	認知症高齢者への対応の仕方
5 月	緊急時等の対応について	サービス利用中、病状変化が生じた際の対応の仕方
6 月	プライバシー保護について	情報の取り扱い、利用方法、他事業所との連携について
7 月	相談・苦情について	相談・苦情について知り、適切な対応について学ぶ
8 月	介護保険制度について	通所介護に関わる制度について学ぶ
9 月	事故発生時の対応について	サービス提供中の事故発生時の対応の仕方と、自身の役割について学ぶ
10 月	災害時の対応	地震や台風等自然災害時の対応と日常の備えについて学ぶ
11 月	感染症について	集団感染しやすいノロウイルス、インフルエンザウイルス感染の予防と発生時の対応について学ぶ
12 月	入浴の援助について	入浴介助の基本を学び、日常の援助について振り返る
1 月	高齢者虐待について	定義と虐待を受けた側・する側の心理を学ぶ
2 月	介護予防	通所介護で行う介護予防について学ぶ
3 月	応急手当について	心肺蘇生法、AED の使い方を再確認し、学びを深める

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

平成 27 年度 年間行事計画

デイサービス 白梅

4 月	上旬	身体測定 春の遠足（手作り弁当を持って）
	中旬	味噌作り ふくれ菓子作り
	下旬	野菜の苗植え 苗もの買い カレンダー書き
5 月	上旬	野菜の苗植え こいのぼり作成 あくまき・かからん団子作り
	中旬	梅漬け 母の日 バラ園見学
	下旬	体力測定 カレンダー書き
6 月	上旬	らっきょ漬け
	中旬	さのぼり 父の日
	下旬	ひまわり・あじさい見学 カレンダー書き
7 月	上旬	七夕かざり作り
	中旬	ゲートボール大会 ところてん作り
	下旬	そうめん流し カレンダー書き
8 月	上旬	回想（あの頃を思い出して）
	中旬	ぼんだご作り
	下旬	体力測定 カレンダー書き
9 月	上旬	読書会（図書館見学） 案山子作り・山田のかかし見物
	中旬	敬老会・ボランティアを招いて
	下旬	味噌作り 野菜植え カレンダー書き
10 月	上旬	第 2 回白梅運動会
	中旬	
	下旬	映画鑑賞会 コスモス見学 カレンダー書き
11 月	上旬	紅葉&足湯ドライブ（みんなで夕食） 第 2 回白梅文化祭
	中旬	干し柿作り
	下旬	そば落とし 甘酒・こんにゃく作り 体力測定 カレンダー書き
12 月	上旬	干し大根 高菜漬け 金柑漬け クリスマスツリーを作ろう
	中旬	あの人に年賀状を送ろう 大掃除 手洗いチェッカー
	下旬	白梅忘年会 カレンダー書き そば打ち
1 月	上旬	初詣 正月の遊び 新春カラオケ大会 書初め 七草粥
	中旬	ぜんざい作り 室内ゲートボール、ボーリング
	下旬	カレンダー書き
2 月	上旬	節分 梅・菜の花ドライブ
	中旬	映画鑑賞会 回想
	下旬	体力測定 カレンダー書き
3 月	上旬	桃の節句 羊羹作り 雛飾り作り
	中旬	ひなたぼっこ喫茶
	下旬	カレンダー書き 前玉神社

平成 27 年度 事業計画

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【基本方針】

フラワーホーム居宅介護支援事業所は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って相談・援助を行います。利用者の心身の状況や置かれている環境に応じて、利用者及び家族の意思により、適切な保健医療サービス及び福祉サービス等が行われるよう、総合かつ効率的なサービス提供がなされるよう配慮して事業に取り組む。

【努力目標】

- (1) 利用者が住み慣れた地域で安心して可能な限り在宅生活が送れるように、ニーズを適切に把握し、医療や介護、関係機関と連携を図っていく。
- (2) 利用者に分かり易く丁寧な説明を行いサービスを自己選択できるように情報提供を行う。
- (3) 介護保険制度改正への迅速な対応と理解を深める為に、内部研修の充実、外部研修へ積極的に参加していく。

平成 27 年度 研修計画

フラワーホーム居宅介護支援事業所

	研修項目	研修内容
4 月	介護保険制度改正について	平成 27 年度介護保険改正の内容について学ぶ
5 月	事例検討	各担当の事例検討を行うことで振り返りや質の向上を図る
6 月	法令・倫理遵守について	法令・倫理規定について学ぶ
7 月	高齢者虐待防止について	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律について学ぶ
8 月	事例検討	各担当の事例検討を行うことで振り返りや質の向上を図る
9 月	記録の書き方について	各担当ケースの記録や担当者会議録について内部公表を行う
10 月	訪問看護について	医療保険・介護保険の違いについて学ぶ
11 月	事例検討	各担当の事例検討を行うことで振り返りや質の向上を図る
12 月	相談援助技術について	直接援助技術や間接援助技術などについて学ぶ
1 月	フォーマル・インフォーマルサービスについて	地域の中のボランティア活動などの社会資源について学ぶ
2 月	事例検討	各担当の事例検討を行うことで振り返りや質の向上を図る
3 月	1 年間の振り返り・メンタルヘルスについて	1 年間の振り返り・メンタルヘルスの実践

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

平成 27 年度 事業計画

在宅介護支援センター
地域包括支援センター

【基本方針】

地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えていく拠点として、住み慣れた地域で健やかに、いきいきと生活できるように、各関係機関と連携を取りながら、高齢者やその家族に対し総合的な支援を行う。

【努力目標】

- (1) 地域に出向き権利擁護等の広報と啓発活動を行い予防的支援に努める。
- (2) 各機関との連携により必要なサービスが速やかに利用できるように対応する。
- (3) 専門職としての各制度の理解を深め、相談者へ安心を与える助言により信頼関係を作る。

平成 27 年度 研修計画

在宅介護支援センター
地域包括支援センター

	研修項目	研修内容
4 月		
5 月		
6 月		
7 月		
8 月		
9 月	霧島市地域包括主催研修	介護支援専門員研修
10 月	鹿児島県権利擁護推進事業研修 県地域包括・在介協議会研修	高齢者虐待対応 職員研修
11 月		
12 月		
1 月	霧島市地域包括主催研修	介護支援専門員研修-
2 月	介護予防従事者専門研修	介護予防マニュアル
3 月	県地域包括・在介協議会研修	職員研修

*外部研修については、必要性を検討し参加する。

平成 27 年度 年間行事計画

在宅介護支援センター
地域包括支援センター

4 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
5 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	鹿児島県地域包括・在宅介護支援センター協議会総会
6 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
7 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
8 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
9 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
10 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
11 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
12 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
1 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
2 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	
3 月	上旬	霧島市業務連絡協議会
	中旬	霧島市地域包括ケア会議
	下旬	

平成 27 年度 年間行事計画

隠居長屋ろんち

4 月	上旬	○竹の子料理
	中旬	○草餅作り
	下旬	○チマキ作り準備
5 月	上旬	○チマキ・ガネ作り
	中旬	○花植え
	下旬	○野草の天ぷら
6 月	上旬	○梅干漬け
	中旬	○カライモ植え
	下旬	○じゃが芋掘り
7 月	上旬	○七夕作り
	中旬	○トコロテン作り
	下旬	○じゃが芋団子作り
8 月	上旬	○ご汁作り
	中旬	○お盆行事
	下旬	○ソバ植え
9 月	上旬	○さつま揚げ作り
	中旬	○ソバ畑の中引き
	下旬	○オハギ作り
10 月	上旬	○カライモ飴作り
	中旬	○味噌作り
	下旬	○はやと瓜の漬物作り
11 月	上旬	○甘酒・コンニャク作り
	中旬	○豊穡祭り
	下旬	○ソバ刈り
12 月	上旬	○ソバ落とし
	中旬	○そまんずし作り
	下旬	○餅つき・ソバ打ち・クリスマス会
1 月	上旬	○七草粥作り
	中旬	○こっぱん団子作り
	下旬	○きんかん漬け
2 月	上旬	○白菜・高菜漬け
	中旬	○煮しめ・コンニャク作り
	下旬	○いこ餅・にわといずし作り
3 月	上旬	○里芋植え
	中旬	○よもぎ摘み～天ぷら作り
	下旬	○桜の花見